

子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査

～みなさんのお声が、明石の子ども・子育て支援のさらなる充実へとつながります～

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

明石市では、「みんなで子育て 子どもが輝き 夢育つまち あかし」を目指して、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めております。

このたび、平成 24 年 8 月に成立しました子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下※「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「子ども・子育て支援事業計画（計画期間：平成 27～31 年度）」を策定することとなりました。

この計画を策定するにあたり、市民の皆様の教育や保育、子育て支援に関するサービスの現在の利用状況や今後の利用希望等を把握するため、本調査を実施させていただきます。

お答えは、すべて無記名となっておりますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することはありません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 25 年 1 1 月

明石市長 泉 房穂

1 調査の対象者

小学校就学前の乳幼児（0 歳～5 歳 3,080 人無作為抽出）

※平成 25 年 1 1 月 1 日現在の住民基本台帳から抽出しています。

2 お送りしているもの

(1) ニーズ調査票 (2) 返信用封筒

3 ご記入にあたってのお願い（回答は、平成 25 年 1 1 月 1 日現在の状況でご記入ください。）

- ・ご回答は、宛名のお子さんの保護者が、ご記入ください。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ〇で囲んでください。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時間を、24 時間表記で記載してください。

（例）9 時～18 時まで

- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、

12 月 17 日（火）までにご返送ください。（切手は不要です。）

- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】明石市こども未来部こども育成室 電話：（078）918-5250

企画調整担当 FAX：（078）918-5650



※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

今回のニーズ調査の実施におきましては、

- ① 住民基本台帳から0～5歳児のお子さまのおられる家庭を無作為に抽出し、調査票を送付したもの
- ② 小学生のお子さまがおられる家庭を対象として、小学校を通じて調査票を配布したものの2通りがございます。

①と②の両方の調査票が届いたご家庭におかれましては、お手数ですが両方の調査票へのご回答をお願いいたします。なお、両方の調査票へのご回答が難しい方につきましては、**左肩に「小学校就学前の乳幼児の保護者様用」と記載された調査票へのご回答、ご返送**をお願いいたします。

※ 参 考

平成24年度に実施しました「就学前教育・保育に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、平成26年度において下記の取り組みを行なうこととしています。

- (1) 市立幼稚園における「3歳児保育」の試行（2園）
- (2) 市立幼稚園における「預かり保育」実施園の拡大（2園⇒9園）

アンケート調査票に使われている用語の定義

- 幼稚園**：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
- 保育所（園）**：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
- 認定こども園**：幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
- 子育て**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育**：原則として、問11までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問12以降においては幼児期の学校（幼稚園・認定こども園）における教育の意味で用いています
- 保育**：幼児の心身の健やかな発育を目的として、保育所（園）などで行われる養護・教育の意味で用いています

明石市の子育て支援メニュー（概要）について

| 支援メニュー | 概要 | 市内設置箇所 (平成25年5月 現在) |
|--------------------|--|------------------------------------|
| 子育て支援センター | 0歳から小学校就学前まで(おおむね3歳までのセンターもあり)の子どもと保護者がおもちゃなどで自由に遊び、親同士、子ども同士で交流や情報交換ができるプレイルームがある。また、子育て相談や絵本コーナー、情報コーナーや授乳コーナーもある。 | 6箇所 |
| こども夢文庫 | 絵本や児童書、おもちゃを通じて子どもが夢を持ち、親子や親同士が気軽に集い交流できる場である。読み聞かせや手遊び等も行っている。 | 7箇所 |
| 乳幼児保健相談 | 発育・発達状況にあわせた個別相談及び身体測定を行う。 | 4箇所 |
| 家庭児童相談室 | 子どもの養育上の悩み、虐待、家庭環境など、0～18歳までの子どもや家庭に関する相談に応じている。 | 1箇所 |
| 幼稚園の園庭提供 | 幼稚園に入園していない乳幼児と保護者を対象に、幼稚園の遊具などを利用して遊んだり、園児と交流する場所。(私立幼稚園で行われる園庭提供を含む) | 29箇所 |
| 保育所（園）の園庭開放や子育て相談 | 地域の未就園の乳幼児と保護者を対象に、保育所の遊具などで遊んだり、園児と交流する場所。また、保育士等による子育て相談も行っている。 | 34箇所 (子育て支援室を設置している下記8箇所を含む) |
| 子育て支援室 | 保育所内に設置された、乳幼児と保護者が自由に遊べ、交流や情報交換ができる場。また、保育士等による子育て相談も行っている。 | 8箇所 |
| 子育て学習室 | 親と子が遊びや体験学習を通じて、地域で共に育ちあう場。 | 28箇所 |
| あかし子育て情報誌「にこにこ」 | 主に0歳から就学前までの子どもの健康、保育、相談窓口、各種助成、お出かけ情報などの子育て情報を掲載。 | — |
| ホームページ「あかし子育て応援ナビ」 | 子育て期の親子の様々な情報を簡単にわかりやすく検索できる総合サイト。 | — |
| 子ども図書館 | 子どもと保護者がゆっくりとしたひとときを過ごす場・保護者の交流の場・子どもが身近に本に親しむ場。 | 1箇所 |
| 赤ちゃんの駅 | 乳幼児を連れた方々が気軽に立ち寄れて、外部の目を気にせずに授乳ができたり、ベビーシートなどがあって安心してオムツ替えができる場。 | 44箇所 |
| まちの子育てひろば | 子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して悩みなどを話し合ったり、お互いに情報交換したりできる場所。 | 65箇所 (子育て支援センター・保育所内で行われるものは除く) |

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|---|------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる | } | 【問7-1へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | 【問7-2へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ---▶ 【問8へ】 |

問7-1 問7で「1. 日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「6. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であり、安心して子どもをみてもらえる
3. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約があり心配である
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. その他 ()

問7-2 問7で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「6. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であり、安心して子どもをみてもらえる
3. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約があり心配である
4. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|--------------|-----------|------------|
| 1. いる／ある | ---▶ 【問8-1へ】 | 2. いない／ない | ---▶ 【問9へ】 |
|----------|--------------|-----------|------------|

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「13. その他市の子育て関連担当窓口」または「14. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 民生児童委員・主任児童委員 | 6. NPO・子育てサークルの運営者 |
| 7. かかりつけの医師 | 8. 保育士・保育所（園） |
| 9. 幼稚園教諭・幼稚園 | 10. 健康福祉事務所（保健所） |
| 11. 子育て支援施設（子育て支援センター等） | 12. 保健センター |
| 13. その他市の子育て関連担当窓口 () | |
| 14. その他 () | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。あわせて、()に数字を(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

※1 問9以降すべて ⇒ 「フルタイム」とは…週5日・1日8時間程度の就労

「パート・アルバイト等」とは…「フルタイム」以外の就労

※2 『1週当たりの「就労日数」』、『1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」』及び「家を出る時刻」、
「帰宅時刻」が一定でない方は、最も多いパターンについてお答えください。

※3 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

| 母親（父子家庭の方は記入不要です。以降同じ） | 父親（母子家庭の方は記入不要です。以降同じ） |
|---|--|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 | 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 |
| ▶【問12へ】 | |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である※3 →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 | 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である※3 →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 |
| ▶【問12へ】 | |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 | 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である※3 →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 | 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である※3 →1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。※2 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 家を出る時刻 () 時 帰宅時刻 () 時 |
| ▶【問10へ】 | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない |
| ▶【問11へ】 | |

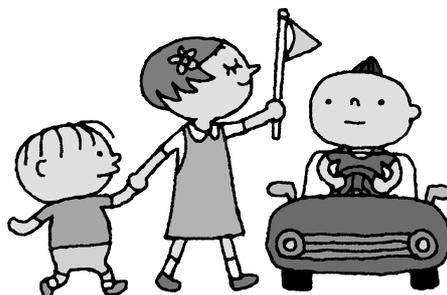
問 10 問9で「3.パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

| | 母 親 | 父 親 |
|-----------------------------|-----|-----|
| フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある | 1 | 1 |
| フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない | 2 | 2 |
| パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 | 3 | 3 |
| パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい | 4 | 4 |

問 11 問9「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれに1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

| 母 親 | 父 親 |
|---|---|
| 1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) | 1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳 になったところに就労したい | 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳 になったところに就労したい |
| 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 | 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) →1週当たり()日 1日当たり()時間 </div> | <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) →1週当たり()日 1日当たり()時間 </div> |



問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「8. 子どもがまだ小さいため」に○をつけた方は、何歳になったら利用したいかを数字で、「9. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

1. 利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(() 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他(())

問 13 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業で、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所(園)の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。また、「11. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

1. 幼稚園(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業を定期的に利用する場合のみ)
3. 認可保育所(園)(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業。ベビーシッターなど)
10. ファミリーサポートセンター(一定の講習を受けた地域住民が一時的に子どもを預かる事業を定期的に利用する場合のみ)
11. その他(())

問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「2. その他の市区町」に○をつけた方は、その市区町名をご記入ください。

1. 居住している市内
2. その他の市区町 (市区町名 () 例・神戸市西区)



宛名のお子さんの土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

※教育・保育事業とは、問12-1に示したような幼稚園、保育所（園）、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 ()時から ()時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | |

(2) 日曜日・祝日

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 ()時から ()時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | |

問17-1 問17の(1)または(2)で、「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「5. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 仕事があるため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 () | |

問18 問12-1で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--|---|
| 1. 利用する必要はない | ---▶ 【問19へ】 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | } ○左記「2.」または「3.」を選ばれた方、 利用したい時間帯 ()時から ()時まで |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |
| ○左記「3.」を選ばれた方のみ、 利用したい日数 ()日/1週当たり | |

問18-1 問18で、「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「5. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 仕事があるため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他 () | |

宛名のお子さんの病気やケガの際の対応についてうかがいます。(平日の定期的な教育・保育事業を利用している(問12で1に○をつけた)方のみ)

問19 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問12で1に○をつけた方)にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ---▶【問19-1へ】 2. なかった ---▶【問20へ】

問19-1 問19で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。また、「9. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

| 1年間の対処方法 | 日数 |
|-----------------------------|------|
| 1. 父親が休んだ | ()日 |
| 2. 母親が休んだ | ()日 |
| 3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | ()日 |
| 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | ()日 |
| 5. 病児・病後児の保育を利用した | ()日 |
| 6. ベビーシッターを利用した | ()日 |
| 7. ファミリーサポートセンターを利用した | ()日 |
| 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | ()日 |
| 9. その他() | ()日 |

▶【問20へ】

問19-2 問19-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日
2. 利用したいとは思わない



宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育や保育、病気やケガのため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○を
つけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。また、「6. その他」に○を
つけた方は、その内容をご記入ください。

| 利用している事業・日数（年間） | |
|--|------|
| 1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所（園）などで一時的に子どもを保育する事業） | （ ）日 |
| 2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業を不定期に利用する場合のみ） | （ ）日 |
| 3. ファミリーサポートセンター （一定の講習を受けた地域住民が一時的に子どもを預かる事業を不定期に利用する場合のみ） | （ ）日 |
| 4. 子育て家庭ショートステイ事業（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業） | （ ）日 |
| 5. ベビーシッター等 | （ ）日 |
| 6. その他（ ） | （ ）日 |
| 7. 利用していない | |

問 21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 20 のような事業
を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号に○をつけ、必要な日数
をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。また、「1. 利用したい」の「4 その他」
に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

| | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 利用したい | 計（ ）日 |
| 1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | （ ）日 |
| 2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 | （ ）日 |
| 3 不定期の就労 | （ ）日 |
| 4 その他（ ） | （ ）日 |
| 2. 利用する必要はない | |

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで
家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。
あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（ ）
内に数字でご記入ください。また、「1. あった」の「6 その他」に○をつけた方は、その内容をご記入
ください。

| | 1年間の対処方法 | 泊数 |
|---------|-------------------------------------|------|
| 1. あった | 1 （同居者を含む）親族・知人にみてもらった | （ ）泊 |
| | 2 子育て家庭ショートステイ事業を利用した | （ ）泊 |
| | 3 上記2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した | （ ）泊 |
| | 4 仕方なく子どもを同行させた | （ ）泊 |
| | 5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | （ ）泊 |
| | 6 その他（ ） | （ ）泊 |
| 2. なかった | | |

宛名のお子さんが小学校就学後、放課後をどのように過ごさせたいかについてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方は、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 5. ファミリーサポートセンター | 週（ ）日くらい |
| 6. その他（公民館、公園など） | 週（ ）日くらい |

問 24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方は、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間表記でご記入ください。

※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 自宅 | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで |
| 5. ファミリーサポートセンター | 週（ ）日くらい |
| 6. その他（公民館、公園など） | 週（ ）日くらい |

問 25 問 23 または問 24 で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい学年及び時間帯を、（ ）内に（例）9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

（1）土曜日

| | | |
|------------|--------|--------------------------|
| 1. 利用したい | -----▶ | 利用したい学年 （ ）年生ぐらいまで |
| 2. 利用希望はない | | 利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで |

（2）日曜・祝日

| | | |
|------------|--------|--------------------------|
| 1. 利用したい | -----▶ | 利用したい学年 （ ）年生ぐらいまで |
| 2. 利用希望はない | | 利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで |

問 26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい学年及び時間帯を、() 内に(例)9時～18時のように24時間表記でご記入ください。

| | |
|------------|--|
| 1. 利用したい | -----▶ 利用したい学年 () 年生ぐらいまで 利用したい時間帯 () 時から () 時まで |
| 2. 利用希望はない | |

育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 27 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を選択肢から番号を選び、「15. その他」を選ばれた方は、その内容をご記入ください。

| | 母 親 | 父 親 |
|--------------|---|---|
| 働いていなかった | 1 | 1 -----▶【問28へ】 |
| 取得した(取得中である) | 2 | 2 -----▶【問27-1へ】 |
| 取得していない | 3 取得していない理由(下の選択肢から該当する番号すべてを選んでご記入ください) -----▶【問28へ】 | 3 取得していない理由(下の選択肢から該当する番号すべてを選んでご記入ください) -----▶【問28へ】 |

- | | |
|--------------|---|
| 選 択 肢 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 2. 配偶者が育児休業制度を利用した 3. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 4. 仕事が忙しかった 5. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 6. 仕事に戻るのが難しそうだった 7. 昇給・昇格などが遅れそうだった 8. 収入減となり、経済的に苦しくなる 9. 保育所(園)などに預けることができた 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他 () |
|--------------|---|

問 27-1 問 27 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

| | 母 親 | 父 親 |
|-----------------|-----|-----|
| 育児休業取得後、職場に復帰した | 1 | 1 |
| 現在も育児休業中である | 2 | 2 |
| 育児休業中に離職した | 3 | 3 |

【問 28 へ】

問 27-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

| | 母 親 | 父 親 |
|---------|--------------|--------------|
| 実際の取得期間 | () 歳 () ヶ月 | () 歳 () ヶ月 |
| 希望 | () 歳 () ヶ月 | () 歳 () ヶ月 |

問 27-3 問 27-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。①・②のいずれかの項目を選択し、それぞれの理由で当てはまる番号すべてに○を付けてください。

| | | 母 親 | 父 親 |
|--------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ① 希望より 早く復帰 した方 | 希望する保育園（所）に入園するため | 1 | 1 |
| | 配偶者や家族の希望があったため | 2 | 2 |
| | 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | 3 | 3 |
| | 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため | 4 | 4 |
| | その他（（ ）内に理由を記入してください。） | 5 <input type="text"/> | 5 <input type="text"/> |
| ② 希望より 遅く復帰 した方 | 希望する保育園（所）に入園できなかったため | 6 | 6 |
| | 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため | 7 | 7 |
| | 配偶者や家族の希望があったため | 8 | 8 |
| | 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため | 9 | 9 |
| | 子どもをみてくれる人がいなかったため | 10 | 10 |
| | その他（（ ）内に理由を記入してください。） | 11 <input type="text"/> | 11 <input type="text"/> |

問 27-4 問 27-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

| | 母 親 | 父 親 |
|-----------------|-----|-----|
| 短時間勤務制度を利用した | 1 | 1 |
| 短時間勤務制度を利用しなかった | 2 | 2 |



問 27-5 問 27-4 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

| | 母 親 | 父 親 |
|--|-------|-------|
| 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | 1 | 1 |
| 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した | 2 | 2 |
| 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった | 3 | 3 |
| 仕事が忙しかった | 4 | 4 |
| 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる | 5 | 5 |
| 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる | 6 | 6 |
| 子育てや家事に専念するため退職した | 7 | 7 |
| 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | 8 | 8 |
| 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった | 9 | 9 |
| その他（（ ）内に理由を記入してください。） | 10（ ） | 10（ ） |

子育て及び育児についてうかがいます。

問 28 育児についてどのように感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「5. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 大変だが楽しい | 2. こんなものだと思う | 3. 不安が多い |
| 4. イライラ感がある | 5. その他（ ） | |

問 29 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 子どもの病気や健康、発育のこと 「7. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | | | |
|-----------|----------------|--------|------------|
| 1. 病気 | 2. 体格や発育 | 3. ことば | 4. 運動不足や肥満 |
| 5. 食生活 | 6. 子どもの心に関すること | | |
| 7. その他（ ） | | | |
| 8. 特にない | | | |

(2) 子どもの病気や健康、発育以外のこと 「17. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 子どもの教育のこと | 2. 子どもの叱り方や接し方（しつけも含む） |
| 3. 子どもどうしの交流の機会がないこと | 4. 安心して遊べる場所がないこと |
| 5. 子どもの遊びのこと | 6. 親どうしのつきあい |
| 7. 子育てが体力的にしんどいこと | 8. 子育てにストレスを感じていること |
| 9. 子育てに自信がもてないこと | 10. 家族などが子育てに協力してくれないこと |
| 11. 子どもの育て方で家族などと意見が合わないこと | 12. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 13. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと | 14. 子どもとふれあう時間が十分にとれないこと |
| 15. 子育ての経済的負担が大きいこと | 16. 子育ての方法が分からないこと |
| 17. その他（ ） | |
| 18. 特にない | |

問 30 あなたは、子育ての不安や負担を解消するために、どのようなことが必要と思いますか。次の中から当てはまる番号3つまで○をつけてください。また、「12. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 2. 子育て支援のネットワークづくり |
| 3. 妊娠・出産に対する支援 | 4. 子どもの教育環境 |
| 5. 仕事と家庭生活の両立 | 6. 要保護児童に対する支援 |
| 7. 教育・保育サービスの充実 | 8. 地域における子どもの活動拠点の充実 |
| 9. 母親、乳児の健康に対する安心 | 10. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 11. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 特になし | |

問 31 家族で協力（夫婦の家事・育児の分担など）して子育てをしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 十分協力している | 2. まあまあ協力している |
| 3. あまり協力していない | 4. 全く協力していない |

認定子ども園についてうかがいます。

認定子ども園の認定件数において、兵庫県は47都道府県中全国で1位となっています。（平成25年4月1日現在、全国で1,099件あるうち兵庫県には93件）

一方、現在、明石市内には認定子ども園はありません。このことについて、下記の設問にお答えください。

認定子ども園とは、幼稚園、保育所等のうち、保護者が働いている、いないに関わらず、小学校就学前の子どもを受け入れて、幼児期の学校教育・保育を一体的に提供する機能を備えた施設です。また、すべての子育て家庭を対象に、子育てに関する相談や親子の集いの場の提供を行うなど、地域における子育て支援を行う機能も持っています。

問 32 認定子ども園について、どの程度知っていますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 認定子ども園についてほぼ理解している | } 【問 32-1へ】 |
| 2. 認定子ども園についてなんとなく知っている | |
| 3. 認定子ども園について聞いたことはある | } 【問 33へ】 |
| 4. 認定子ども園について全く知らない | |

問 32-1 問 32 で「1. 認定子ども園についてほぼ理解している」または「2. 認定子ども園についてなんとなく知っている」に○をつけた方にうかがいます。

認定子ども園設置に取り組むことについてどのようなお考えをお持ちですか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-------------------|--------------|
| 1. 積極的に進めてほしい | 2. どちらかといえば進めてほしい | →【問 32-2へ】 |
| 3. どちらかといえば進めてほしくない | 4. 進めるべきではない | 5. どちらともいえない |

問 32-2 問 32-1 で「1. 積極的に進めてほしい」または「2. どちらかといえば進めてほしい」に○をつけた方にうかがいます。

認定こども園をつくることで、どのようなことが期待できると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「13. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 0歳～2歳児の定員の増加 | 2. 3歳～5歳児の定員の増加 |
| 3. 子育て支援策や虐待対策の充実 | 4. 施設・設備の充実 |
| 5. 教育内容の充実 | 6. 保育内容の充実 |
| 7. 幼稚園・保育所（園）の経営の安定 | 8. 保育時間の延長 |
| 9. 子どもの集団づくり | 10. 個性・独自性のある幼児教育・保育の展開 |
| 11. 経験豊富な教員・保育士の確保 | 12. 給食の回数・内容の充実（アレルギー対応含む） |
| 13. その他（ | ） |

本市の子育て施策についてうかがいます。

問 33 本市は、子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問 34 子育て支援として、充実してほしいと思うものはなんですか。当てはまる番号 4つまで○をつけてください。また、「13. その他」に○をつけた方は、その内容をご記入ください。

- | | |
|---|---|
| 1. 一時的な預かりのサービス（ファミリーサポートセンターなど） | |
| 2. 家の近くで子どもが安心して遊べる場所づくり（公園やプレイルームなど） | |
| 3. 保育や教育など、子どもに関するさまざまな情報を集めた総合相談窓口の整備 | |
| 4. 親子で遊んだり、情報交換などができる場の提供 | |
| 5. 子育てサークルの育成や子育て支援ネットワークづくり | |
| 6. 子育て教室や講座の開催 | |
| 7. 妊産婦や乳幼児の健康診断、保健指導などの母子保健事業 | |
| 8. 男女共同参画による家事、育児の啓発活動の推進 | |
| 9. 保育所（園）の増設 | |
| 10. 社会的養護の必要な子どもへの支援（児童虐待の防止や里親制度の啓発など） | |
| 11. 就労時間の短縮、育児休業や育児休暇が取りやすいよう企業などへの啓発 | |
| 12. 公園整備、歩道の整備などまちの環境整備 | |
| 13. その他（ | ） |



